



第10回 「日本学術振興会 育志賞」受賞候補者推薦要項  
(平成31年度(2019年度))

1. 趣旨

日本学術振興会(以下「本会」という。)は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に陛下から御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」を創設しました。

2. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野

3. 授賞

授賞数は16名程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈します。

4. 対象者

以下の①②の条件を満たす者を対象としますが、推薦に当たっては、論文等の業績のみにとらわれず、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な者、経済的に困難な状況や研究施設が必ずしも十分ではない等の厳しい研究環境の下でも創意工夫を凝らして主体的に研究を進めている者など多様な観点から推薦願います。

- ① 我が国の大学院博士課程学生であって、平成31年4月1日において34歳未満の者で、平成31年(2019年)5月1日において次の1)から4)のいずれかに該当する者
  - 1) 区分制の博士後期課程に在学する者
  - 2) 一貫制の博士課程3年次以上の年次に在学する者
  - 3) 後期3年だけの博士課程に在学する者
  - 4) 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制博士課程に在学する者
- ② 大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる者

※海外からの留学生で上記の条件を満たす者も対象にしています。

## 5. 推薦権者

### 1) 我が国の大学の長（大学長推薦）

推薦数：人社系、理工系、生物系各1名、その他に分野を問わず1名の計4名まで

### 2) 我が国の学術団体の長（学会長推薦）

推薦数：1名まで

※学術団体については、日本学術会議協力学術研究団体となっている学術団体に限ります。

※自薦・個人推薦は受け付けません。

## 6. 応募方法

電子申請システムにより推薦を受け付けます。（紙媒体での応募は受け付けません。）

様式1、様式2（1ページ目）は電子申請システムでダウンロードしたものを使用してください。それ以外の様式等は、本会のホームページ

（<https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>）よりダウンロードしてください。

電子申請システム用のID、パスワードは、紙媒体にてご案内します。（3月下旬発送予定。）  
4月上旬になっても受領できない場合は、ご連絡ください。

電子申請システム URL

<https://area18.smp.ne.jp/area/p/1dtj9lapdt9mflik0/5HmrFe/login.html>

操作マニュアル URL

<https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/data/densimanual.pdf>

書類の作成にあたっては、本会のホームページに掲載している「提出書類の記入要領」を参照してください。

書類	電子申請
①「受賞候補者推薦名簿」(様式1)	電子申請システムでダウンロードしたものをアップロード
②「推薦書」(様式2)(1ページ目) ③「推薦書」(様式2)(2ページ、3ページ目) ④「推薦理由書A、B」(様式3)※ ⑤「研究の概要等」(様式4)	②～⑤の順番でPDF結合させた上、1つのデータとしてアップロード

※：④は、推薦者以外に、研究指導者及び候補者の研究を理解している研究者の2名から、それぞれ作成いただくものです。

## 7. 受付期間

平成31年(2019年)6月3日(月)～6月7日(金)17:00(締切)

※電子申請システムは、平成31年3月25日(月)から使用可能

## 8. 選考方法

推薦のあった候補者について、日本学術振興会に設置する選考委員会において、書類選考により面接選考対象者を決定し、面接選考を経て受賞者を決定します。

## 9. 選考基準

学業成績が優秀で、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいること。選考に当たっては、本賞の趣旨に鑑み、次の①から③を重視します。

- ① 我が国の学術研究の将来を担う研究者となりうる卓越した能力を有しており、将来学界等への貢献が期待されること
- ② 将来、更なる研究の発展が見込まれ、卓越した研究者に成長していく可能性を有していること
- ③ 経済的に困難な状況や、研究施設が必ずしも十分ではない等の厳しい研究環境の下でも創意工夫を凝らして、主体的に研究を進めていること

<上記に該当する者の例>

- 発想・着想、課題設定などにおいて、創造性・独創性が高い研究に主体的に取り組んでいる者
- 当該学問領域や学際領域における重要な基盤となる研究に主体的に取り組んでいる者
- 研究活動に関連する、ユニークな活動に主体的に取り組んでいる者
- 短期的には論文等の成果が出にくい研究に対して、忍耐強く取り組んでいる者

## 10. 選考結果の通知

選考結果は、平成32年(2020年)1月頃推薦者に通知する予定です。

## 11. 授賞式

平成32年（2020年）3月頃に行う予定です。詳細については、選考結果とともに受賞者に通知します。なお、受賞者の授賞式に出席する旅費は本会が負担します。

## 12. 受賞後の取扱い

受賞者は、希望により所定の申請手続きを経て受賞の翌年度から特別研究員等に採用され、研究奨励金等が支給されます。採用は、翌年度の4月1日の在学年次、学位の取得状況等に応じた採用区分の特別研究員又は外国人特別研究員となります。既に特別研究員として採用されている受賞者についても、希望により前記と同様の扱いを受けることが可能です。詳細については、受賞者に対して別途お知らせします。

なお、特別研究員又は外国人特別研究員への採用に当たっては、原則として他のフェロウシップ、研究費の助成等を受給することはできません。また、定められた規則等を遵守していただきます。詳細は、当該事業募集要項・採用後の諸手続きの手引き等をご確認ください。

（特別研究員：<https://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>、外国人特別研究員：  
<https://www.jsps.go.jp/j-fellow/index.html>）

## 13. その他

- 1) 推薦書（様式2）の「推薦理由」欄は、推薦者（大学長又は学会長）の立場から独自の観点で記載してください。
- 2) 推薦書等の提出後、その記載事項を変更又は補充することはできません。
- 3) 提出された推薦書等は返却しません。
- 4) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。
- 5) 受賞者の氏名、所属等は公表されるのであらかじめ承知願います。
- 6) 受賞者には、我が国の学術の振興、本会の事業の充実等のため、協力を依頼することがありますので、あらかじめ承知願います。
- 7) 受賞者には、育志賞研究発表会があり、受賞者間のネットワークづくりの機会となっています。
- 8) 推薦書類に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本会の「個人情報保護規程」に基づき厳重に管理し、本事業や関連する本会の業務遂行のために利用します。

## 14. 問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1

独立行政法人 日本学術振興会

人材育成事業部 研究者養成課 「日本学術振興会 育志賞」担当

TEL 03-3263-0912

FAX 03-3222-1986

ホームページアドレス

<https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

## 参考

### I 第9回(平成30年度)日本学術振興会 育志賞について

#### 1. 推薦状況

第9回(平成30年度)		
学長推薦	学会長推薦	計*
106人(104人)	58人(56人)	155人(152人)

( )内は、前回の人数

※ 重複推薦は1名で計上

#### 2. 日程

推薦依頼	平成30年3月16日
推薦書受付	平成30年6月4日～8日
予備選考 (学術システム研究センター)	平成30年7月～12月
選考委員会	平成31年1月10日
受賞者決定報道発表	平成31年2月6日
授賞式	平成31年3月8日

### II 過去の受賞人数

開催年度	受賞者数
第9回(平成30年度)	18名
第8回(平成29年度)	18名
第7回(平成28年度)	17名
第6回(平成27年度)	18名
第5回(平成26年度)	18名
第4回(平成25年度)	18名
第3回(平成24年度)	16名
第2回(平成23年度)	17名
第1回(平成22年度)	17名